



希望あふれる子どもたち

# さあ一九七六年だ

.....として保存しましょう.....



越表小学校6年生のみなさん

昭和五十一年、西暦でいえば一九七六年がやってきました。町の内外ともにきびしい世の中とはいえ、戦争のない、平和な現代に生きることをお互いに喜び合いたいものです。そのなかでも、子どもたちは純白な心で将来に夢と希望をかけてスクスクと育っています。

× ×

◇東郷小三年・寺田富美さん

おとなになったら学校の先生になりたい。それともっと背が高くなりたいわ。

◇寺迫小六年・田代典子さん

ことは中学生になるのでしっかり勉強し、バスケットボールでからだをきたえたい。

◇福瀬小六年・直野和久くん

中学校に入ったら競争相手をみつけ、それを目標に勉強したい。母の手伝いもしたいな。

◇坪谷小四年・川島明子さん

大きくなったら看護婦さんになり、お母さんが病気になったとき看病してあげるの。

◇越表小五年・河野郁代さん

ことは六年生になるので、下級生にやさしくしたり、よいことをすすんでやりたい。

◇東郷中二年・吉元留美子さん

本を読むのが大好き。今まで四十冊読んだけど、ことし中に日本の歴史や詩集を中心に十冊の本を読みたいわ。

◇坪谷中三年・阿万文男くん

自転車で世界一周するのがぼくの夢。ことし大阪のガス会社に就職するので、働いたお金で自転車を買いたい。ことし中に日本一周をぜひやろう。

◇越表分校二年・上原弘行くん

一年後にせまった高校入学めざして勉強に精を出したい。また、柔道の練習もつづけ初段をとりたい。

新春を迎えて

均衡ある町づくり

町長 木村 誠



輝かしい昭和五十一年の新春を迎え心からお喜び申し上げます。

私は昨年四月の統一地方選挙において町長に就任いたしました。以来八カ月間、本町行政の推進につとめてまいりました。

企業誘致の推進

まず第一に過疎対策です。揺れ動く日本経済の波の間に間に漂うのは、つねに豊山村出身者であると言われています。

婦人と青年の教育

本町の基幹産業である農林業については、昭和五十一年度から実施を予定されている農村総合モデル事業を軸として、第二次農業構造改善事業、第二次林業構造改善事業、農村工業導入地域指定による特別対策事業など、国県の制度事業を積極的に導入して、生活・生産基盤を整備して住みよい農村生活環境の整備充実につとめてまいります。

地域較差の解消

社会資本の整備充実についても町道の整備をはじめ次代をなう子弟の教育の場である幼稚園、小中学校の整備充実、働く主婦のための保育所の充実をはかって、町民共同の財産が町民等しく利用できるような均衡のある設置につとめます。

タツ年生れです

わたしの夢



ことわざに「一年の計は元旦にあり」とあります。新年は各人それぞれに感慨があるもの。そこでつぎのタツ年生れの七人のかたから、ことしの決意・抱負を語っていただきました。(内は生年)

羽坂・日吉アキ子さん(昭15)

ことは結婚して十二年目。タツ年でわたしの年でもあるので、こと



坪谷・吉田テツエさん(明37)

金婚式まであと三年。それまでお父さんともども元気で過ごせることを祈っています。



田野・沖田和枝さん(昭39)

わたしはことしの四月から六年生になるので、下級生をいたわったり運動場のチリ拾いなど、たくさんいいことをしたいと思っています。



鶴野内・菊池隆恵さん(大5)

仕事があればとさきどき外に出て働いていますが、三月には孫が生まれるので、守りをするのが今から楽しみです。



八重原・福畑巳喜勇くん(昭27)

ことははくこの年。二十四年間生きてこられたことにまず感謝しています。



小野田・伊藤トシ子さん(昭3)

とにかく元気で仕事をし、家族みんなが健康で明るい生活のできることを願っています。



仲深・井本浅吉さん(明25)

元気さえあれば若いときに覚えたいものです。そして、竹やぶらの材料とりまた山へ行きたいと思っています。

新年のあいさつ

町政の躍進を期して

町議会議長 黒木利男



町民のみなさん、あけましておめでとうございませう。

年の年頭にあたり、町議を代表して慎んで新年のごあいさつを申し上げます。

で、企業の倒産が相ついでおこり失業者が百万人をこすという、わたしたちが予想だにできなかったきびしい年でした。東郷町内では町長と町議会議員の選挙がおこなわれ、新しい体制で四年間の町政を担当することになりました。

年頭所感

調和のある人づくり

教育長 高森文夫



昭和の年、代も半世紀が終り、いよいよ昭和五十一年の新春を迎えることになりました。

昨年の十一月には福瀬小学校が創立百年を迎え、今年には越表小学校と坪谷小学校の百周年を迎えることになりました。

学校が、明治八年には福瀬小学校と寺迫小学校、明治九年には越表小学校と坪谷小学校がつぎつぎに創立されました。

新しい教育振興の基本方向は、

今までのように学校教育だけを教育と考える狭い考えから脱却して、生涯教育という広く長い観点に立つて教育を考えなければならぬと思えます。

現代は

現代はきわめて急速な進歩の時代であり、激動の時代であります。

接町政に

接町政にたずさわるわれわれ議会人に課せられた責務であり、国および県の施策と相まって、町政の範囲内において最大の効果があらうよう努力をはらわねばならないと思えます。

その

そのことが、百年間管々として汗水を流しながら子弟の教育に親としての最大の期待と喜びをかけてきた、父祖の願いを正しく継承する道であろうと信じます。



町の青少年問題協議会では11月18日、中央公民館で「子どもの声を聞く会」を開きました。この日は、町内各小・中学校から男女各1名が参加し、①あすをになうわたしたちの郷土づくり、②こんな人になりたい、③おとなへのねがい——という3つのテーマを中心に意見をのべてもらいました。

# 子どもの声



あいさつは、単に形式的なものではないかと思う人もいるでしょうが、わたしは、あいさつはもつと重要な役割をもっていると思います。

## 大切な農業の役割

渦元孝美 ぼくは青年団活動を通じて東郷町をもっと魅力ある町にしたいと思っています。



最近、若い人たちがつきつきに県外や町外に出ていく傾向にあります。なぜでしょうか。それは、この町にこれといった魅力も若者にむく工場もなく、農業にしても耕作面積が少なく、農業だけで家庭をたてていくことは困難だからだと思います。

では、農業だけで家庭経済をたてていくことは困難なのでしょう。か。ぼくはけつして困難ではないと思います。農業はその国にとっていちばん大切な基本産業だと思っています。農家があるからぼくたちは食べられるのです。農業をおろそかにすると、例えば食糧を外国から輸入しなければならなくなり、国の発展は望めなくなるでしょう。何日か前のテレビで、政府は我が国の食糧自給量を七〇%まで高めていくと報道していました。自給量を高めることによって、食糧を外国から輸入しなくてもよくなります。外国が食糧を売らないといつても、我が国だけでまかなうことができるでしょう。

農業は将来きつと見直されるようになるでしょう。ぼくは、これからの東郷町をになう若い人たちが、青年活動を通じて東郷町農業のあり方を研究し合い、協力していけば、必ず希望のもてる明るい豊かな東郷町を築いていくことができると思います。ぼくははじめ、農業はいやだと思っていました。が、この原稿を書いているうちに、農業が世界一大切な産業だということがわかりました。そして、農業が好きになりました。

### 友情や和を広める

若林久美 わたしは、美しい郷土づくりをすすめるために、あいさつをテーマにとりあげました。

### あいさつ

わたしは、美しい郷土づくりをすすめるために、あいさつをテーマにとりあげました。

## 農業の発展につくしたい



三浦希人 ぼくは坪谷中では生徒会を中心に牧水生家や記念館の清掃作業をしています。この坪谷中の伝統的奉仕作業が、最近よく表面に出て、県の文化財愛護少年団として認められました。でも、ぼくたちが記念館を清掃しているにもかかわらず、ぼくたちの気持が記念館を訪れる人たちに通じないことに、少し不満を感じています。

りをもっていきます。ですから、きれいにしてあるところが汚されるのはとてもやしく思います。ぼくたちは、坪谷中文化財愛護少年団の旗のもと、この貴重な文化財を長く守りつづけていくつもりです。そして、この地域を中心に郷土を愛する心を広げ、そこから道路の美化、精神的なもののためのおしごはかられたらすばらしいと思います。さて、ぼくの将来の夢はこれか

ぼくたちは、毎月第三土曜日にこの清掃をしています。それが、それにもかかわらず、相変わらずあちこちにゴミや空き缶などが落ちているのです。

観光をかねて多くの人が牧水先生の遺品などを見に来ますが、そのために記念館が汚されるというの、たいへんめいわくなことだと思えます。ぼくたち中学生でも清掃してきれいにしているのだから、社会常識をそなえたおとなたちが、ゴミ一つ、空き缶一つゴミ箱に捨てられないはずはないと思えます。ぼくたちは、この奉仕作業に誇

## 小さなことから郷土づくり



田中郁美 みなさんは、毎日の生活の中で、東郷町をよくするためにどんなことをしていますか。わたしはまず小さなことから始めたいと思います。わたしの学校は、校舎が古いので冬などは困ります。でも校舎を

らの農業をたてなおしていくことです。現在、農業は耕地がせまく、農産物の価格が不安定なため離農者が多く、年々衰えています。今、サップという農業後継者研修集団がありますが、ぼくはこのサップで衰えかけている農業のたて直しをはかり、ゆくゆくは宮崎県の農業マンのリーダーとしてみんなを指導していけるような人になりたいと思います。そのため、農業大学で学び、広い視野を身につけ、日本農業の向上につくしたいと思っています。そして、郷土を愛し、豊かなみんなの力の合わさったすばらしい郷土にしたいと強く思っています。

簡単に新しくすることはできません。わたしたちは、教室やロウカにワックスをぬってみがいたり、花だんに花を植えたりして、学校の美化につとめています。また、近ごろは川原や道ばたに空き缶やゴミが捨てられていきます。自分一人ぐら捨ててもよいだろうという気持ちはすて、一人一人が汚さないように心がけてほしいと思います。このように、小

## だいな 三つの気

### やる気・根気・勇気



海野孝二 ぼくは将来の夢や希望についてまだ具体的なものはありません。まず今のところ高校入試があるの、そのことしか考えられません。ぼくは小学校のころは、父のあとをついで建築大工になろうと思っていました。が、今はその気はありません。ぼくは機械を組立てたり分解したりすることが好きな

わたしたちがあたたかい心の人間であることも大切です。親切な心も、人間としての思いやりもそういつつ生れると思います。また、わたしたちは物をそまつにしないでしょう。わたしたちは廃品回収をし、それで学校にかさをそろえました。わたしたちが思いさつや物をだいにする、そういう小さなことの積上げによって、わたしたちの東郷町はより豊かになってゆくのではないのでしょうか。で自動車や飛行機の整備がしたいと思っています。職業は、自分の性格に合ったものでなければ、一生長つづきはずせに、すぐやめてしまおうかと思っています。ただそういう中で、やる気、根気、勇気のある人になりたいと思います。これは校長先生が口グセのように言われるのですが、ぼくもそのとおりだと思えます。この三つの中で、今自分が必要とするのはやる気です。よく兄からやる気がないと言われるので、これからは何をするにもやる気をもってやりたいと思います。さらに根気、勇気ともに自分の希望をやりとげるためには必要です。この三つの「気」は、ほんとうはおとなになってから必要とするものではなく、子どものころから必要なもので、今から身につけておき、今後の目標達成にすすんでいきたいと思えます。

### 発言者

- 寺迫小 六年 橋口聖司
- 寺迫小 六年 黒木岸子
- 福瀬小 六年 小林英明
- 福瀬小 六年 塩月理恵
- 東郷小 六年 黒田義信
- 東郷小 六年 矢野真弓
- 坪谷小 六年 川上 求
- 坪谷小 六年 那須美保
- 越表小 六年 長野一道
- 越表小 六年 田中智代
- 東郷中 二年 渦元孝美
- 東郷中 二年 若林久美
- 坪谷中 三年 三浦希人
- 坪谷中 三年 川野由紀
- 越表分 三年 海野孝二
- 越表分 三年 田中郁美

### 企画開発課 企画係







お知らせ

農業委員選挙人名簿の登載申請

町選挙管理委員会では、この一月一日現在で「農業委員会委員選挙人名簿」を作成します。農家のみなさんには、区長または組合長を通じて申請書をお届けしていただきますので、必要事項を記入のうえ、一月十日までに、町農業委員会に提出してください。

児童手当の手続き

児童手当は、十八歳未満の子どもが三人以上いて、三番目の子どもが義務教育終了前（中学校を卒業していない子ども）で、あればその保護者に月額五千元が支給されます。手当は二月、六月、十月に前月までの分をまとめて、農協の口座に振込まれます。

これに該当されるかたは、住民課福祉係で手続きをしてください。なお、転出、転居、出生などの異動が生じた場合にも届け出るようにしてください。

免除をうけた保険料

十年間さかのぼって追納 国民年金制度では、所得が少なくして生活が苦しく保険料を納めることができない人のために、保険料の「免除」ができます。保険料の免除は、他の年金制度にない国民年金制度の大きな特色ですが、免除を受けると、老齢年金の計算は保険料を納めた場合と比較して、三分の一の割合で計算されますので、完全に納めた人よりも低い年金額になります。

そこで、生活が苦しく免除を受けた人でも、その後生活に余裕ができたときには、希望により免除期間分の保険料を納める方法があります。これが保険料の追納です。保険料の追納は、納める月から過去十年間さかのぼって納めることができ、保険料の額は、当時の額でよいことになっています。

自分の過去の納入状況を福祉係で確認し、免除期間のある人は、将来、後悔しないために早目に追納されるようおすすめます。

タコあげによる

感電事故を防止しよう

お正月はタコあげのシーズンです。最近はやつこタコに加えてアメリカ製のタコが子どもたちのあいだにブームをよんでいます。しかしながら、楽しいタコあげ

今月の納税

町 県民税 四期 国民健康保険税 六期 納期 一月三十一日

「わが家の家計簿」

体験談を募集しています

県貯蓄推進委員会では、いま「わが家の家計簿」体験談を募集しています。

家計簿をつけて、こんなことがあった、こういうことがわかったなど、あなたが家計簿を通じて体験し、感じたことを四百字詰原稿用紙五枚以内にとめてお送りください。

▽しめ切り 昭和51年2月29日  
▽送り先 宮崎県貯蓄推進委員会 (宮崎市樋通東 日本銀行宮崎事務所内)



ありがとうございます

- 小野田の山田 進さんから (シゲさん・81歳ご死去)
  - 小野田の笠瀬清美さんから (セイさん・86歳ご死去)
  - 田野の黒田幸作さんから (迪さん・74歳ご死去)
  - 八重原の安岡フクノさんから (一さん・32歳ご死去)
  - 追野内の歌津 博さんから (スエさん・76歳ご死去)
  - 仲 深の水野春義さんから (丸山春治さん・74歳ご死去)
- この六件は、町社会福祉協議会の事業資金へご寄贈いただきました。ありがとうございます。

ぎのところへご連絡ください。

九州電力日向営業所

電話 日向 〇二一八一

▽入選 特選五編に賞金各五万円 秀作十編に賞金各三万円、佳作三十五編程度に各一万円。▽入選発表 六月中旬

戸籍だより

11月届出分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
黒木利香	康夫	鶴野内
池田直継	平美	追野内
福原茂教	健一	羽坂

結婚おめでとう

氏名	名	部落
飯本村	りえ	神奈川
柿口	重子	寺深
橋松	八重子	兵庫
新名	伸重	小林
盛須	世津	福瀬
西那	末吉	日向市

ご冥福を祈ります

氏名	年令	部落
富山ヒデ	86	坪谷
笠瀬セイ	85	小野田
田中義	73	羽坂
山田シゲ	81	小野田
黒田迪	74	田野
中田コメ	54	羽坂
安岡スエ	32	八重原
岩崎スエ	76	追野内